

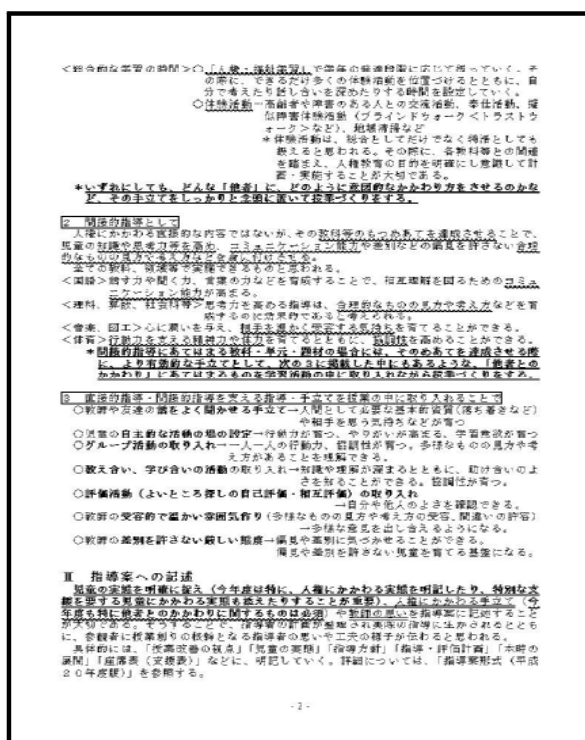
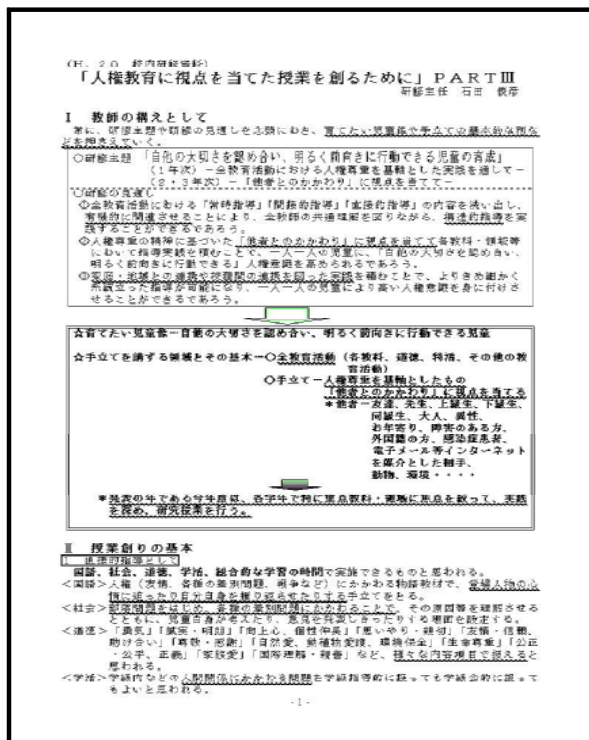
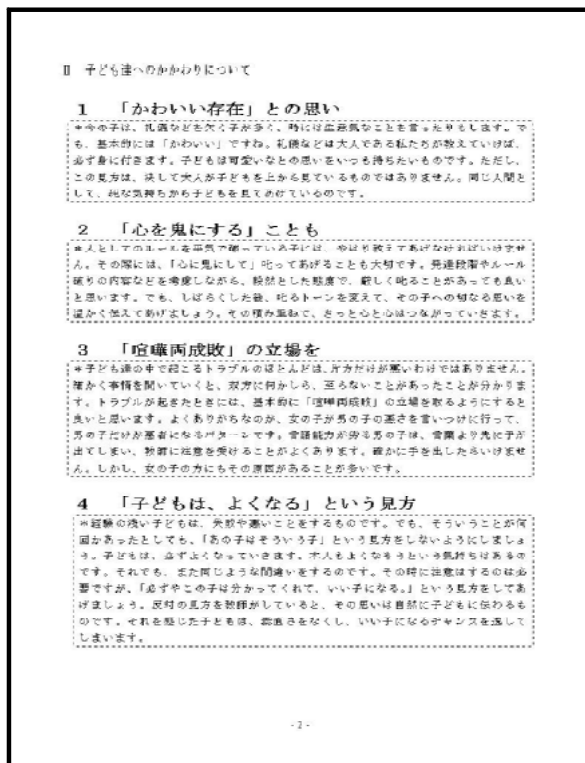
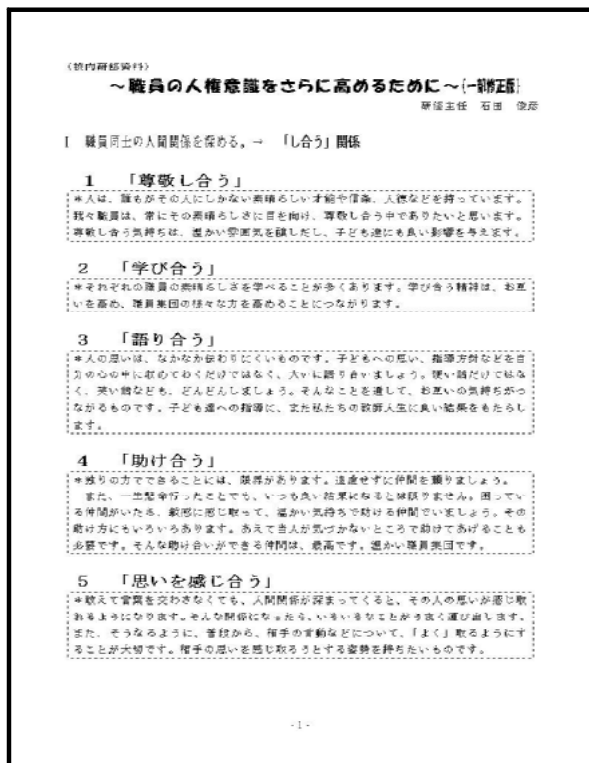
## VI 教職員の基礎研修

児童の人権意識を向上させるためには、職員の人権感覚を高め、本校における人権教育にかかわる共通理解を図ることが必須条件である。そのために、校内研修での全体会で学習会を実施したり、職員対象の研修だより「アプローチ」を発行したりしてきた。

1 共通理解、意識高揚のための学習会及び研修日より「アプローチ」の発行

① 学習会

以下に挙げるような資料を作成・活用し実施した。



# 人間関係アップ作戦



～みんなで実践！5つの『し合う』～

1 「尊敬し合う」

2 「学び合う」

3 「語り合う」

4 「助け合う」

5 「思いを  
感じ合う」



藤岡第一小  
研修だより

# アプローチ

№. 13

平成18年11月 6日発行

発行責任者：研修主任

## 情報機器を巧みに使った提言性の高い国語の授業

～研究授業のトップバッターとして、重責を果たした小西先生～



2日(木)4校時に5年3組(コンピュータ室)において、**小西啓吾先生が研究授業を実施**して下さいました。今回の授業は、研究所の研究授業と校内研修の学年代表の研究授業を兼ねたものでした。

授業改善の視点等については以下の通りです。

○授業改善の視点…「工夫して発信しよう『藤岡ニュース』」の番組作成において、放送の構成や伝え方を考える場面で、次の2つの手だてを活動に加えることによって、児童は受信者に対して、理解しやすいような放送の構成や伝え方を考えることができるであろう。

①放送の構成や伝え方を、プレゼンテーションソフトを実際に使い、静止画や図、表を映しだしながら、放送原稿を読み、検討する活動を取り入れる。②よい点を認め合ったり、改善点を伝えたりするグループ活動を取り入れる。

○单元名…目的に応じた伝え方を考えよう(ニュース番組作りの現場から)

(工夫して発信しよう「藤岡ニュース」)

○本時の学習のねらい…ニュースをわかりやすく伝えるための課題を見つけようとすることができる。

本授業は、**パソコンやプロジェクタなどの情報機器、観点別評価カード・課題発見カードなどのワークシートを有効的に活用**しながら、子ども達にニュースをわかりやすく伝えるにはどうしたらよいかを考えさせるものでした。

デジカメやインターネットなどで用意した4枚の画像が、15秒ごとに映し出せるように、子ども達は、事前に**プレゼンテーションソフト「パワーポイント」**を活用して作成しました。

その画像に合わせて、目的や相手を意識しながら作っておいた原稿を読みます。15秒で読める字数になるように**工夫された原稿用紙**に書いた原稿なので、

どの子も変わっていく画像に合わせて、**時間内で上手に発表**できていました。それをグループの他のメンバーが聞いて、**いくつかの観点をもとに、評価**をしてあげていました。

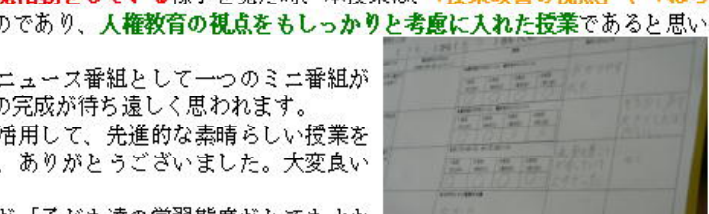
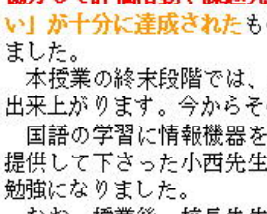
その観点とは、①聞き取りやすい速さか ②聞き取りやすい声の大きさか ③画面と原稿の内容が合っていたか ④分かりにくい言葉や文章がなかったか ⑤もっと知りたいと思ったこと です。それぞれのグループで、リーダーを中心に、**協力しながら評価し合**っています。そして、友達から渡された評価をもとに、**自分の課題を発見**する活動をしていきました。

**パソコンを巧みに使いながら、生き生きと集中して学習に取り組む**子ども達の姿やグループごとに**協力して評価活動や課題発見活動**をしている様子を見た時、本授業は、**「授業改善の視点」や「ねらい」が十分に達成された**ものであり、**人権教育の視点をもしっかりと考慮に入れた授業**であると思いました。

本授業の終末段階では、ニュース番組として一つのミニ番組が出来上がります。今からその完成が待ち遠しく思われます。

国語の学習に情報機器を活用して、先進的な素晴らしい授業を提供して下さいました小西先生、ありがとうございました。大変良い勉強になりました。

なお、授業後、校長先生が「子ども達の学習態度がとてもよかった。小西先生の言葉遣いも丁寧ですばらしい。」と誉めていました。授業の基本ですね。この基本をしっかり押さえていたからこそ、**提言性の高い授業**を提供できたのだと思います。





## 全員参画の計画訪問！

～教師の心にも子ども達の心にもたくさんの人権の花が咲きました～



昨日は、市教委の計画訪問がありました。今回の計画訪問は課題型のものでしたので、今年度になって本校が特に力を入れてきている「人権教育」の取り組みについて、授業公開などを通して紹介しました。

まずは、5校時に代表の2人の先生の授業公開。上学年は4年1組の今井先生の社会科の授業、下学年は2年1組の吉田先生の道徳の授業でした。今井先生の授業は、とにかく**明るい雰囲気**で、子ども達の**心が開かれて**おり、**高い学習意欲**がひしひしと伝わってくるような授業でした。一人一人を**大切にする今井先生の思い**と**子ども達のやる気**がぴったりと合っていて、正に**信頼関係**の上に成り立っていました。

吉田先生の授業は、教室に入るなり、**しっとりとした雰囲気**が感じられました。一人一人の子ども達が**真剣な眼差しでワークシートに自分の思いを表現**していました。それを**温かく見守る吉田先生**。本学級も**すばらしい学級経営**の上に成立していることが確信できました。4年1組も2年1組も、それぞれにクラスのカラーはちがいますが、



それぞれの担任が**温かく子ども達を支え**、子ども達もその担任の思いに答えようと**意欲的に**学習に取り組んでおり、**正に人権教育**が実践されていることが伝わってきました。

そして、それぞれの授業を参観する先生方。みんなそれぞれに役割を持ち、記録したりカメラに収めたりと真剣そのものです。その参観で学び取ったことなどを、次の分科会（授業研究会）で、それぞれの立場から発言し合いました。司会の先生の巧みな進行のもと、様々な角度からたくさんの意見が出され、非常によい勉強をし合うことができたと思います。今回の研究授業や授業研究会の時間は、私たちにとって大変充実した時間となりました。

そして、続いて全体会が行われました。長井先生の名司会のもと、行われました。校長先生の熱い思いが込められた挨拶。ユーモアの中にもご示唆が感じられた教育長様のご挨拶。ありがたく思いました。そして、私からの「校内研修の概要説明」。終わった後に、「長いよ。」とお叱りをいただきました。申し訳ありませんでした。時間を気にしながらも、職員の皆さんの活躍ぶりを伝えたくなくなってしまい、ついつい長くなってしまいました。でも、本当はもっと話したいぐらいだったので、すが……。次回(?)は、もう少し周りの空気を読んで、短くしたいと思います。次に、記録係



の先生からの分科会の報告。適切な報告で内容がよく伝わってきました。

ところで、5校時の研究授業の間、さくらプランの先生方が、すべての学年の自習の様子を見て下さっていました。おかげで安心して授業参観をすることができました。また、以前より高桑さんが校庭の落ち葉掃きをしたり青木さんが職員玄関やトイレをきれいにしたりして、陰で支えて下さっていました。正に今回の計画訪問は、全員参画の形で実施することができたと思います。皆さん、ありがとうございました。この場をお借りし、心より感謝申し上げます。

私たちの人権教育はこれからますます充実させていこうとしている段階です。全体会での田中係長様からご教授いただいたこと（○指導と評価を一体化させ、どの子にもねらいを達成させることが人権教育につながる。○自己決定の場を設定し、自己存在感を感じさせ、共感的な人間関係を作り上げながら、子ども達にやる気を起こさせる指導が人権教育につながる。○授業のねらいを達成させるとともに、その達成状況を人権教育の視点で考察してみることが大切。○一つ一つの問題に地道に向き合い、小さいうちに解決していくような日常の指導が大切。）を今後のわれわれの指針にして、さらに研究と実践を重ねていきましょう。

なお、今井先生と吉田先生の授業の詳しい内容については、次号以降に掲載していきたいと思えます。よろしくお願い致します。

